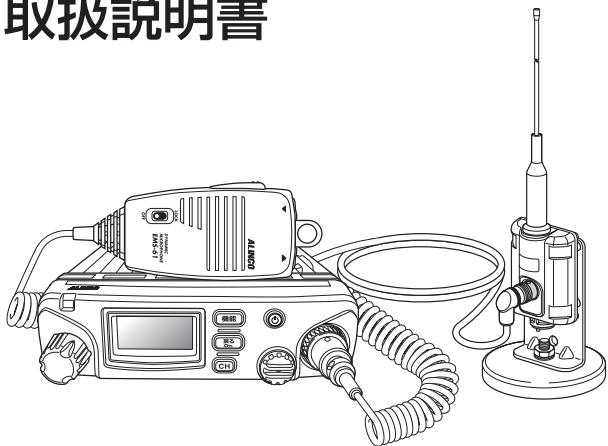


車載型特定小電力無線装置

総務省技術基準適合品 特定小電力無線機器 無線部:XE1148
Bluetooth Module XE1126 内蔵

DR-PM300SEFL

取扱説明書



アルインコの製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本機は免許、資格不要の特定小電力無線機器です。日本国内なら誰でも用途を問わず、各種通信にお使いいただけます。本機の性能を十分に発揮させるために、この取扱説明書を最後までお読みいただくようお願いいたします。アフターサービスなどについても記載しています。

本機は日本国内専用モデルです。海外では使用できません。
This product is intended for use only in Japan.

◆◆◆安全上のご注意◆◆◆

本機を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前にお読みください。

この取扱説明書では、本機を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損失を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表 示	表示の意味
 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

図記号	表示の意味
	△記号は、注意（危険・警告含む）を促す内容があることを告げるものです。 図の中には具体的な注意内容が描かれています。
	○記号は、行為の禁止であることを告げるものです。 図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。
	●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は AC アダプターをコンセントから抜け）が描かれています。

本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因にて通信などの機会を失ったために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

⚠ 危険



電源ケーブル接続の際は、極性を間違えないよう十分注意してください。火災・感電・故障の原因となります。赤の配線はプラス（＋）極、黒の配線はマイナス（－）極です。



本機の定格電源、電圧は DC13.8V と DC26.4V でいわゆる 12V 車と 24V 車に自動的に対応します。29V 以上の電圧が掛かると故障、火災、感電の原因となります。12V 以下、15 ～ 23V 程度の電圧だと電源がオンしない、定格通りの出力が出ない、などの不具合の原因となります。



必ず付属の電源ケーブルをお使いください。電源ケーブルを細くすると火災・感電・故障の原因となります。



万が一内部からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。

⚠ 警告

■使用環境・条件



雷鳴が聞こえたときには、落雷のおそれがありますので、本機には触れないでください。感電の原因になります。



分解・改造・修理しないでください。取扱説明書に記載されている場合を除き、ケースなどを外し、内部にふれることはさけてください。火災・感電・けがの原因になります。（改造は電波法違反になります。）



周りに花びんなど、液体の入った容器を置かないでください。液体がこぼれて無線機内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。



湿度の高い所や、冷たい所から急に温かい所へ移動しますと、本機に露がつく場合があります。露がつくと本機の動作に悪影響を与え、故障の原因となりますので、よく乾燥させ、露をよく取り除いてからご使用ください。



万一、発煙、異臭、異音などの異常がある場合は、使用しないでください。

継続してお使いになると火災、感電、故障の原因になります。



電源ケーブルを折り曲げたり、ねじったり、傷つけたり、熱器具に近づけたり、加熱しないでください。故障の原因となります。



電源ケーブルを加工したり、ヒューズホルダーを取り除いて使用することは絶対にしないでください。火災・故障の原因となります。



ぬれた手で電源ケーブルに触れないでください。感電のおそれがありますので絶対にしないでください。



引火性のガスの発生場所では、電源をオンしないでください。発火の原因となります。



小さいお子様やペットの手が届かない場所で使用、保管してください。感電やけがの原因になります。



電子機器（特に医療機器）の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障・誤動作の原因となります。



内部から漏れた液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。



医療や介護関連、または空港、鉄道、港湾、放送局、中継局など電波を使用する施設での使用については各施設管理者に事前に問い合わせ承認を得てからご使用ください。



この製品を人命救助などの目的で使用して、万一、故障・誤動作などが原因で人命が失われることがあっても、製造元及び販売元はその責任を負うものではありません。



本機どうし、または他の無線機とともに至近距離で複数台使用しないでください。お互いの影響により故障・誤動作・不具合の原因となります。



第三者の通信を聞いて知り得た情報を無断で他人に話したり、公開したり、許可なく利用したりすると電波法が定める通信の秘密保護条項に違反して罰せられます。



本機を何らかのシステムや電子機器の一部として組み込んで使用した場合、いかなる誤動作・不具合が生じても製造元および販売元はその責任を負うものではありません。



指定以外のオプション品や他社のアクセサリ製品を接続しないでください。故障の原因となります。



本機の故障、電波環境や使用場所の状況などから通信できなかったことで発生した、逸失利益に対する責任は負いかねますのでご了承ください。



機種名、数字や記号が書かれたラベル類は、絶対に剥がしたり、他のシールなどで隠したり、貼り替えたりしないでください。技術適合の基準から外れ、違法無線機とみなされることがあります。

■運転中の本機の使用について



本機を運転手が走行中に運用する際は、安全運転を最大限優先してください。操作パネルを走行中に注視していると道路交通法違反で罰せられる可能性があります。



ほとんどの自治体では運転中に大きな音を鳴らす、イヤホン類を使用する、など安全運転に必要な周囲の音が聞こえない状態になっていると条例違反として罰せられる可能性があります。ご注意ください。

■本機の取扱いについて



イヤホンを使用する場合、あらかじめ音量を下げてください。聴力障害の原因になることがあります。



本機無線部は調整済みです。無線部をユーザーが改造、仕様変更することは法律で禁止されています。



布や布団で覆ったりしないでください。熱がこもり、ケースが変形したり、火災の原因となります。また、なるべく直射日光を避けて風通しの良い状態でご使用ください。



下記の部位に水をかけたり、水が入ったりしないようにご注意ください。

- 火災・感電・故障の原因となります。
- ・操作部全体　・電源ケーブルとバッテリーなど電源の接続部分
- ・連結ケーブルを接続していない無線部
(連結ケーブルを接続しないと防水になりません)



水などでぬれやすい場所(風呂場など)では使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。



近くに小さな金属物や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。

■無線部の設置について

※必ず P.11 の「磁石基台について」もお読みください。



高所に取り付けるときは、万一落下したときに人や物に事故・損害が発生しない場所を選んでください。



振動や衝撃の多い場所や不安定な場所には設置しないでください。落下によるけがや機器破損の原因となります。



無線部ブラケット EBC-66 は、本書に記載の設置方法以外の形状に組み立てて設置しないでください。落下によるけがや機器破損の原因となります。



高速道路や悪路での運転時は無線部を取り外してください。大型車両に取り付けるときは道路の高さ制限に留意してください。移動中に無線部が落下すると大変危険です。

■異常時の処置について



以下の場合、すぐ本機の電源をオフにして、連結ケーブルや電源ケーブルを抜いてください。異常な状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。修理はお買い上げの販売店、または当社サービスセンターにご連絡ください。お客様による修理は、法令により禁止されていますので、絶対にお止めください。

- 異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするとき
- 落としたり、ケースを破損したりしたとき
- 内部に水や異物が入ったとき
- 電源ケーブルのコードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）

■保守・点検



本機のケースは、開けないでください。けが・感電・故障の原因となります。内部の点検・修理は、お買い上げの販売店または当社サービスセンターにご依頼ください。本機を分解、改造することは法律で禁止されています。

防水素材は時間が経つと劣化しますので、外郭保護性能についても製品と同じ保証期間となります。



■使用環境・条件



電化製品の近くで使うと電波障害を与えたり受けたりすることがあります。

原因となる機器から離れてお使いください。



湿度の高い場所、ほこりの多い場所、風通しの悪い場所には設置しないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。



ぐらついた台の上や傾いた所、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりして故障やけがの原因となることがあります。



幼児の手の届くところには置かないでください。けがなど事故の原因となります。



磁気カードなどを近づけないでください。特にマグネットマウントは強力な磁気を帯びた部品で、メモリーデバイスやキャッシュカードなどの内容が消去される場合があります。



直射日光の強いところや炎天下の車などに長時間放置しないでください。発熱・発火・故障の原因となります。プラスチックやビニールなどが多用されるマイクなどのアクセサリーは熱や日光で劣化しますので特にご注意ください。



普通のごみと一緒に捨てないでください。環境破壊の原因となります。廃棄の方法は一般家電製品と同様です。



放熱をよくするため、本機はできるだけ囲わないように設置してください。



雷に対する保護はなされていません。雷が接近している時や、発生が予想される時は屋外につながる連結ケーブルや電源ケーブルを本機から外してください。雷は直撃以外にもこれらのケーブルに高い電圧がかかり故障を起こす原因になります。



直射日光があたる場所や車のヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所には置かないでください。内部の温度が上がると、ケースや部品が変形・変色したり、火災の原因となることがあります。



調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

■本機の取扱いについて



長期間で使用にならないときは、安全のため必ず本機の電源をオフにし、電源ケーブルを抜いてください。



連結ケーブル、電源ケーブル、マイクケーブルは無理に引っばったり引き抜いたりしないでください。故障の原因となります。

■保守・点検



お手入れの際は、安全のため必ず本機の電源をオフにし、電源ケーブルを抜いてください。



汚れた場合は柔らかいきれいな布で乾拭きしてください。



ベンジン、シンナー、洗剤などの溶剤を使うと外装が変質したり、ショートを誘発して故障するため絶対に使わないでください。パソコンやデジカメのようなAV機器を清掃するために市販されているクリーニング用具をお使いください。

■ Bluetooth® について

別売のワイヤレスマイクをお使いになるときは必ずお読みください。



本機に内蔵している Bluetooth Module(XE1126) は総務省技術基準適合品です。分解、改造することは、法律でかたく禁じられています。



電子レンジの近くで使うと電磁波の影響で通話できなくなることがあります。妨害を受けたときは電子レンジから離れてください。

■ Bluetooth 機能による電波干渉について

本機の Bluetooth 機能を使用するときは、以下についてご注意ください。Bluetooth に使用される 2.4GHz 帯では、電子レンジなどの産業、科学、医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）、特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、アマチュア無線局が運用されています。

- ・ 本機の Bluetooth 機能を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、2.4GHz 帯のアマチュア無線局などが運用されていないことをご確認ください。
- ・ 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更するか、Bluetooth 機能をオフにしてください。
- ・ その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局、アマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、弊社サービスセンターにご相談ください。

■ 本機の Bluetooth 機能の制限について

別売ワイヤレスマイクでは、下記の運用はできません。

- ・ デュアルオペレーション
- ・ コールバック

Bluetooth の登録商標 / 著作権について

Bluetooth のワードマーク及びロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、アルインコ株式会社はこれらのライセンスに基づいて使用しています。なお、本文中では TM、® などのマークを省略しています。本書の内容の一部、または全部を無断で複写 / 転用することは、禁止されています。

■無線部の磁石基台について

本製品の一部に強力な磁石を使用した基台が使われています。この注意書きを必ずお読みください。正しく使用しないと事故や故障の原因となります。

使用方法の正誤に関わらず、設置面に付く傷や変色、さび、また電子カードやメモリーデバイスのデータ消失など、磁力による不具合は製品保証の対象外です。

かすり傷が困るような表面には磁石基台は絶対に使用しないでください。

【落下の危険に関する注意】

- ・ 本機以外のものに基台を使用しないでください。
- ・ 後述の設置方法をよくお読みの上、説明に従って正しく取付けてください。無線部の基台は側面設置を禁じており、振動による落下が無い環境でのみ壁面への取付けが可能になります。
- ・ 移動するものに取付けたときはアンテナ部を引っかけないように高さにご留意ください。
- ・ 高速道路での移動時など、非常に強い風圧を受けるおそれのあるときは基台を外してください。
- ・ 自動車などに取付けられる場合、マグネットが非常に強力なため、直接自動車の塗装面に取付けると、傷が付いたり塗装がはがれてしまう場合がありますので、ご注意ください。
- ・ 基台と設置表面の間に物をはさまないでください。
- ・ 曲面や凹凸のある表面は避けてください。設置前に表面の汚れを落としてください。
- ・ 磁石が引き寄せない金属（例：アルミニウム）には取付けできません。
- ・ 激しい振動のある車両では予め試験運転をして、基台が落下しないか安全を確認してください。

【磁気と着脱に関する注意】

- ・ 誤った使用は取付け面の傷や変色、さび、故障の原因となります。
- ・ 基台の磁力は強力です。必ず本体を持って着脱してください。絶対にケーブルを引っ張らないでください。
- ・ 環境によっては基台に砂鉄のような細かい鉄粉が吸着します。そのような場合は定期的にふき取って清掃してください。
- ・ 屋外に設置して長期間使用していると、基台の部分に日光が当たらず周囲と基台部の変色の度合いが変わることがあります。時々基台の設置場所をずらせると変色は避けられます。
- ・ かすり傷が付くと困るような表面には基台を設置しないで下さい。
- ・ 電子カード類、医療機器、コンパスなど磁力に対する安全上の注意を促している機器や物品には絶対に近づけないでください。

◆◆◆目 次◆◆◆

安全上のご注意	2
目 次	12
使用前のご注意	14
機能と特徴	15
1. お使いになる前に.....	16
付属品の確認.....	16
電源の接続と設置方法	17
2. 本体の名称と動作.....	25
3. 基本操作	28
4. 通信前のご注意.....	31
5. 通信方法	33
通話方式の切替え.....	34
通話方式一覧.....	35
6. 便利な機能	37
キーロック	37
短縮設定	37
緊急通報	37
スキャン	38
デュアルオペレーション	38
ACSH (アクシュ)	40
中継リモコン	42
ノイズキャンセラー	43
Bluetooth 機能.....	44
リセット	46

7. セットモード	47
セットモード一覧	47
セットモード基本操作	49
セットモード	50
8. 保守・参考	63
故障とお考えになる前に	64
9. オプション一覧	67
10. 定 格	69
11. 付録	70

◆◆◆ 使用前のご注意 ◆◆◆

- 操作部とマイクは高温、多湿、直射日光が当たり続ける場所を避けてお使いください。
- 本機の改造、変更は法律で禁止されています。分解したり内部を開けたりすることは絶対にしないでください。
- 無線部の取付け基台には強力な磁石が使われています。磁気の影響を受ける電子機器の近くに設置すると、それらの機器に悪影響を与える可能性があります。
- 他社製や弊社の旧製品とグループトーク設定すると、通話できないことがあります。使用するトーン信号の精度に関する相性で異常ではありません。2 ～ 37 番の間でグループ番号を変えてみてください。
- 本機操作部は防水、防塵ではありません。水分や粉塵が内部に入って故障した場合、保証の対象にはなりません。工場が出る鉄粉などは意識していなくても内部に入りがちですので特にご注意ください。
- 本機無線部は、連結ケーブルを正しく取付けていれば、防塵・防水になります。ただし、連結ケーブルの取付けが不十分で水分や粉塵が内部に入って故障した場合や、常に水しぶきや海水、油脂、薬品がかかる環境や鉄粉が飛散するような環境などで発生する不具合については、保証の対象にはなりません。
- 本機の秘話機能は第三者に通信内容が聞かれる可能性を低くするものであり無線の性質上、通信の秘匿性能を保証するものではありません。

◆◆◆機能と特徴◆◆◆

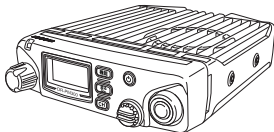
- 総務省技術基準適合品の Bluetooth Module (XE1126) を内蔵しています。本機の Bluetooth 機能は弊社製 Bluetooth アクセサリーにのみ対応します。
- 大音量 2W のオーディオ出力、コンパnder、緊急通報、オートパワーオフ、ACSH (アクシュ) 設定など便利な機能はもれなく採用しました。
- Bluetooth やノイズキャンセルに加えて、音声ガイダンスや短縮動作による機能など無線機をより便利にお使いいただける多彩な機能を搭載しています。
- 別売の防水型マイク及び Bluetooth マイクが使えます。付属マイクと併用して3本のマイクで同時に送信もできます。
- 基台とケーブルを含む無線部は IP65/66/67 相当の耐塵・防水です。

1

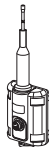
お使いになる前に

..... 付属品の確認

☐ 本機（操作部）



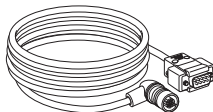
☐ 本機（無線部）



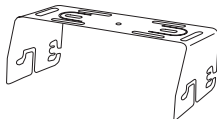
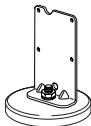
☐ マイク EMS-61



☐ 連結ケーブル 5m EDS-40S05



☐ 無線部ブラケット EBC-66 ☐ モービルブラケット FM0078A



☐ 電源ケーブル UA0038AY ☐ 六角ネジ用スパナ



☐ モービルブラケット取付け用ネジセット

本体取付用六角ネジ
AE0012
(M4 x 8mm) x 4



タッピングネジ
(M5 x 20mm) x 4



ネジ
(M5 x 20mm) x 4



六角ナット
(M5) x 4



☐無線部ブラケット取付け用ネジセット ☐シガーケーブル EDC-341

六角ボルト
(M8 x 25mm)



六角ナット
(M8) x 2



ネジ
(M3 x 8mm) x 4



☐取扱説明書 (本書)

☐保証書

注意 ・保証書に購入の日付が記載されていないときは、レシートを保証書と一緒に保管してください。ご購入日が証明できる書類が無いと保証サービスは無効となりますのでご注意ください。

・設置や取付けに使用するネジは付属または指定のものをお使いください。長すぎると機器内部のショート、短すぎると取付け不安定となり落下して故障の原因となります。

弊社純正、または弊社が認めたアクセサリ以外をご使用になって起きた不具合は保証期間の有無を問わず有償修理になります。他の無線機メーカー製オプション品が使えるかどうかは検証していません。他社製アクセサリに関する事は、直接その製品のメーカーにお問い合わせください。

本機の保証は、本機と付属品だけに適用されます。

..... 電源の接続と設置方法

本機の設置や取付けには、プラスドライバーなどの簡単な工具が必要です。

設置を始める前に本章をお読みの上、必要に応じた工具をご用意ください。

■マイクの接続 (EMS-61)

図のようにキャップ①を外し、左側のマイクコネクターに②のプラグを挿入します。
止まるまでしっかりねじ込んでください。

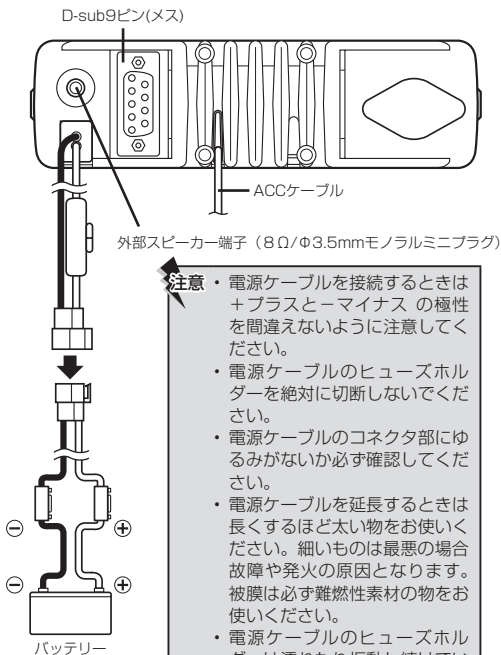


参考

別売マイクの接続については P.63 の説明をお読みください。

■ 電源と外部スピーカーの接続

電源は車のバッテリー（12/24V）に、直接付属の電源ケーブルで接続するか、付属のシガーケーブルでシガーソケットから電源供給してください。外部スピーカーはアクセサリメーカー製の無線機用をお勧めします。無線機販売店にご相談ください。



- 注意** ・ 電源ケーブルを接続するときはプラスとマイナスの極性を間違えないように注意してください。
- ・ 電源ケーブルのヒューズホルダーを絶対に切断しないでください。
 - ・ 電源ケーブルのコネクタ部にゆるみがないか必ず確認してください。
 - ・ 電源ケーブルを延長するときは長くするほど太い物をお使いください。細いものは最悪の場合故障や発火の原因となります。被膜は必ず難燃性素材の物をお使いください。
 - ・ 電源ケーブルのヒューズホルダーは濡れたり振動し続けるとショートやゆるみで故障の原因となります。濡れない場所に結束バンド等で固定して設置してください。



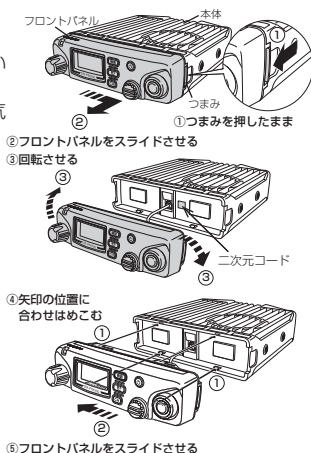
参考

基地局でお使いの時は別売の安定化電源器に接続してください。一番小さな3Aクラスのものでお使いになれます。弊社製のDM-404をお勧めします。接続方法は安定化電源器の説明書をご参照ください。

■フロントパネルについて

本機は、上下どちらを向いても良いようにセットできます。
波型のヒートシンクになるべく外気が当たるように設置してください。

※右図の矢印で示した場所にある二次元コードは、本機の取扱説明書へのリンクです。



■車両やクレーンに設置する場合

なによりも安全運転を優先してください。次の手順に従って、接続してください。

●取付け場所

車種によりレイアウトは異なりますが、操作性、安全運転の面から最適と思われる場所を選んでください。

次のような場所は避けてください。

- ・ひざが本機にあたる場所や安全場所の動作に支障のある場所
- ・直接振動が伝わる場所
- ・ヒータの吹き出し口など、温度が高くなる場所
- ・マイクや操縦装置などに引っかかるような場所

注意 モニターなどの電子機器からなるべく離して配線、設置してください。
ノイズの影響を受けて通信しにくくなるおそれがあります。

■ モービルブラケットの取付け

ここでは、吊り下げて設置する方法を説明します。+ ドライバー No.2 をご用意ください。

1. モービルブラケットを適切な位置に取付けます。

付属のワッシャー（4 個）とタッピングネジ（4 本）で、取付けてください。

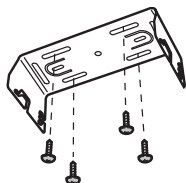
2. 付属の六角ネジ（4 本）を本機に軽く取付けます。

必ず付属の六角ネジ（4 本、M4 × 8mm のみ）を使用してください。長すぎると内部部品を壊し、短いと落下して故障の原因となります。

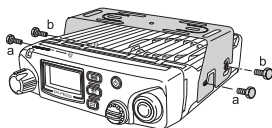
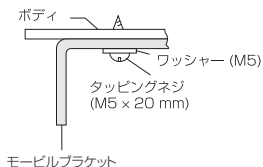
3. 六角ネジ b をモービルブラケットの後ろの溝に先に入れ、押し上げながら押し込みます。

4. 同時に六角ネジ a を前の溝に入れます。

5. 六角ネジ（4 本）を締めて固定します。



< 下孔として $\phi 4 \pm 0.2$ をあけた場合 >



注意 弊社の製品保証には、取付けや取外しに掛かる費用は含まれていません。

保証の有無にかかわらず不具合が起こり、製品を取外して再度取付けの際に費用が発生しても、弊社ではその費用の負担は致しかねます。設置を第三者に委託されるときは、予めご了承ください。

■無線部ブラケットの取付け

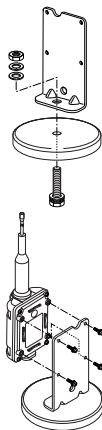
ここでは、無線部とブラケットの取付け方について説明します。13mm 幅のボックスレンチ、スパナなどと + ドライバー No.2 をご用意ください。

1. ブラケットを水平面に取付けます。

付属の六角ボルトをブラケットの底面から挿入し、六角ナット、座金類（各 1 個）を締めて固定します。

2. 無線部をブラケットに正しく取付けます。

付属のネジ（4 個）を締めて取付けてください。



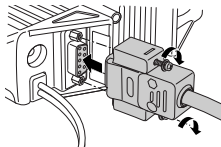
重要 必ず基台が地面に対して水平になる場所に取付けてください。誤った取付け方だと無線部や基台が落下してけがや故障の原因となり、大変危険です。
 付属の基台以外の使用や、基台を使わないで設置するなど、誤った設置による故障や事故は製品保証の対象外です。

■ 連結ケーブルの取付け（操作部—無線部）

ここでは、操作部—無線部をそれぞれ連結ケーブルで取付ける説明をします。
+ ドライバー No.1 をご用意ください。

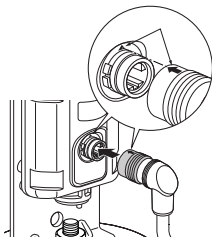
1. 操作部に連結ケーブルを正しく取付けます。

操作部リアパネルの D-Sub コネクタ（メス）に連結ケーブル側の D-Sub コネクタ（オス）を合わせながら取付けます。
その後ネジを締めてしっかりと固定します。



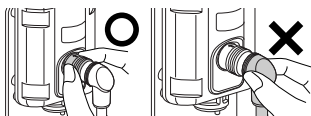
2. 無線部に連結ケーブルを正しく取付けます。

取付ける前に連結ケーブルが引っかかっていたり、過度な張力がかかっていないか確認します。
必ずリング部を持ちながら無線部 8P コネクタの「△マーク」と、連結ケーブル側の「△マーク」とを合わせながら「カチッ」と音がするまで奥までしっかり押し込みます。



3. 無線部の連結ケーブルを取外す場合

リング部を持ちながら、取付けとは逆の方向に引くと、リング部がスライドして取外すことができます。



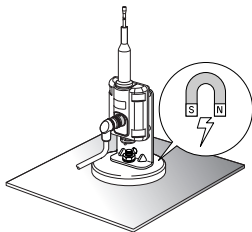
注意 ・ 連結ケーブルを取付ける前に、ケーブル自体をしっかりと固定させてから無線部に取付けてください。

- ・ 無線部の連結ケーブルを取外した後、そのまま放置しないでください。8P コネクタから水分や粉塵が内部に入り、故障の原因となります。
- ・ 無線部に連結ケーブルを取付け後、リング部の根元を持って無理に引っばったり、回したりしないでください。故障の原因となります。
- ・ 連結ケーブルに対して過度な張力や曲げが加わると、電気的性能の低下や断線するおそれがあるため、ご注意ください。
- ・ 連結ケーブルは定期的に点検してください。異常のまま使用していると火災・感電・故障の原因となります。
- ・ 配線の引き込み時にはケーブルを伝わって雨水などの水分が浸入しないようご注意ください。

※設置前に本書 P.11 の無線部の磁石基台に関する注意書きを必ずお読みください。

■無線部の設置

無線部ブラケットの底面部には、強力な磁石を使用しています。設置する場合は平らな金属面に設置し、しっかりと固定できていることを確認してください。



- 注意** ・底面部には、強力な磁石を使用しています。設置する場合は平らな金属面に設置し、しっかりと固定できていることを確認してください。取付け後は試運転して落下、転倒が無いことをよくご確認のうえお使いください。
- ・自動車などに取付けられる場合、マグネットが非常に強力なため、直接自動車の塗装面に取付けると、傷が付いたり塗装がはがれてしまう場合がありますので、ご注意ください。

■外部電源コントロール機能

車両の ACC (イグニッションキー) 入 / 切と連動して本機の電源をオンオフできます。

操作部の後ろに出ているブルーの線と接続できるギボシ端子、又は代用のコネクター類がついた ACC 端子までの長さのケーブル、簡単な工具類が必要です。電源ケーブルの接続前に作業します。

1. 本機後面から出ている ACC ケーブル (P.26) を、用意したケーブルに接続して ACC 電源に接続します。ACC を入れると 12/24V が出る端子であれば電流容量は問いません。電源が入ったことを操作部に知らせるだけなので電流はほとんど消費しません。
2. P.18 の説明を読み電源ケーブルを配線、接続します。
3. 車両の ACC で電源を入れます。最初だけ手で電源を入れます。オンの状態で ACC を切り、再度入れて本機の電源とイグニッションキーが連動していることを確認してください。

- 注意**
- ・イグニッションキー入時は本機の電源キーでオンオフできますが、イグニッションキー切時は本機の電源をオンすることはできません。
 - ・本機の電源スイッチとイグニッションキーでの電源のオンオフは別の動作です。連動で電源をオンするときは一度、本機の電源をオンにした状態でイグニッションキーを切ります。
 - ・イグニッションキーが入時は、本機の電源キーを手動でもオンオフできます。イグニッションキーが切れていると電源はオンしません。
 - ・本機の電源スイッチが切れているときに、イグニッションキーを入れても電源はオンしません。
 - ・ACC ケーブルは電氣的にオープンの状態では電源はオフしません。イグニッションキー切時に L レベル（車のシャーシアースと ACC 端子が 40k Ω 以下）になるような ACC 端子に接続してください。車には複数の ACC 端子がありますので、確実にイグニッションキーで電源オンオフできる ACC 端子を探して接続してください。
 - ・ACC ケーブルはショートしないようにしてください。
 - ・外部電源コントロール機能を使わない場合は、ACC ケーブルの保護キャップを必ず着けてください。
 - ・安定化電源に ACC ケーブルを接続してもこの機能は動作しません。

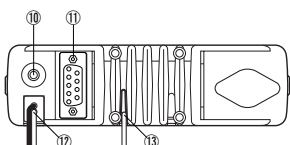
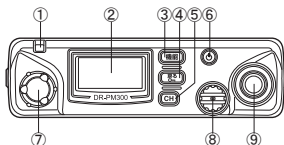
■ ノイズについて

昨今、直流安定化電源や AC アダプターはスイッチング方式が多用されています。原理上、スイッチング方式の電源は電磁ノイズの発生源となります。使用されていないチャンネルでスケルチが開くなどの現象があれば、安定化電源と連結ケーブルを離す、同じコンセントにつながる AC アダプター、LED ランプなどがあれば外す、などで軽減することがあります。自動車も電子機器が多用されていて、ノイズが発生する可能性があります。本機は設計時、車載実験を行うなどノイズの影響が無いことを確認していますが、ノイズは発生源側で対策しないと解決しないこともあります。設置場所、使用環境、時間帯や電源を変えて消えるノイズは無線機側に起因する不具合ではありません。

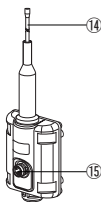
2

本体の名称と動作

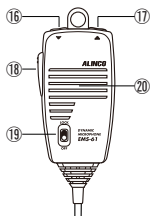
■操作部 フロントパネル ■操作部 リアパネル



■無線部



■マイクロホン (EMS-61)



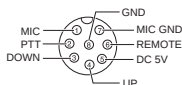
■マイクコネクタ図

右のマイクプラグ、ジャックに関する注意書きを必ずお読みください。

<マイクコネクタ1>



<マイクコネクタ2>

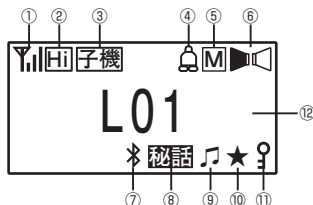


操作部側正面

No.	名称	機能
①	ランプ	青色点灯：待受中、緑色点灯：受信中、赤色点灯：送信中 赤色点滅：リモコン送信 緑色点滅：設定完了 青色・緑色交互点滅：ACSH（アクシュ）モード 赤色・緑色交互点滅：ペアリングモード
②	ディスプレイ	本書中の " ディスプレイ表示 " を参照してください。
③	機能キー	押すとセットモードになります。 セットモードでは設定階層が深くなります。 長押しをすると短縮動作をします。
④	戻るキー	セットモードで設定階層が浅くなります。 長押しでキーロック設定 / 解除ができます。
⑤	CH キー	押すとチャンネルやグループが点滅し、ダイヤルで選択します。もう一度押すと解除されます。
⑥	電源キー	長押しすると電源をオンオフします。
⑦	ダイヤル	待受画面では音量、チャンネルを選択します。 セットモードでは設定項目や設定値を選択します。
⑧	マイクコネクタ 1	オプション品のスピーカーマイクを接続します。 しっかりと奥までねじ込んでください。
⑨	マイクコネクタ 2	付属のマイク、またはオプション品の 8 ピンマイクを接続します。
⑩	外部 SP 端子	市販の外部スピーカーを接続する端子です。
⑪	D-Sub9 ピン(メス)	連結ケーブルを接続します。
⑫	電源コード	13.8V または 26.4V の DC 電源を接続します。
⑬	ACC ケーブル	外部電源コントロール機能を使用するときに使います。
⑭	アンテナ	アンテナ部です。
⑮	8P コネクタ	連結ケーブルを接続します。
⑯	DOWN キー	チャンネル番号、各設定項目の DOWN
⑰	UP キー	チャンネル番号、各設定項目の UP
⑱	PTT キー	押すと送信します。離すと待受に切り替わります。
⑲	ロックスイッチ	UP/DOWN キーの機能を停止します。
⑳	マイク	マイク部です。

- 注意** ・純正アクセサリ以外のプラグを挿入すると壊れる可能性があります。そのときは保証の対象外となります。
- ・故障の原因となりやすいデリケートな部品ですから、プラグ部分でねじったり、曲げたり、斜め方向に挿したりするなど、必要以上のストレスをジャック内部に掛けしないでください。
 - ・必ずプラグは最後までしっかり挿入してください。中途半端に挿入された状態では、プラグ・ジャック両方が故障の原因になります。
 - ・工具を使って締め付けたり、必要以上に力を掛けてねじ込むことはおやめください。

■ディスプレイ表示



説明		
①		受信した電波のレベルに応じて四段階に点灯します。送信時には送信マークになります。
②		送信出力に応じて表示します。(P.53)
③		通話方式に応じて表示します。(P.35)
④		ベル機能設定時に表示します。(P.55)
⑤		ノイズキャンセラー設定に応じて表示します。(P.51)
⑥		現在有効なスピーカーを表示します。黒色スピーカーはマイクコネクタ 1 に接続するスピーカーマイク、白色スピーカーは内部 / 外部スピーカーを表します。
⑦		Bluetooth 設定時に点灯します。(P.44)
⑧		秘話設定時に点灯します。(P.50)
⑨		コンパンダー設定時に点灯します。(P.50)
⑩		VOX 設定時に点灯します。(P.52)
⑪		キーロック設定時に点灯します。(P.37)
⑫		チャンネルやグループ、各設定内容を表示します。

注意 通話方式によっては設定時にアイコンが表示されない場合がありますのでご注意ください。

3

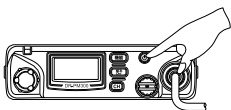
基本操作

【重要】キーの操作方法について

- ・本書の説明でキーを「押します」は、押した後すぐに離すことを意味します。長く押しすぎると違う動作をすることがあります。
- ・「約○秒間押す」「長く押す」「長押しする」とは機能が動作するまで押し続けることを指します。
- ・送信時以外はどの状態でも、「電源」キーまたは「PTT」キーを押すと変更した設定があればそれも確定して、素早く待ち受け状態に戻れます。

■電源を入れる、切る

「電源」キーを長押しすると電源が入ります。
(オン) 電源を切る (オフ) ときも同じ操作をします。ACC 接続していれば自動でオンオフできます。



■音量を調整する

音量調節範囲は 0 ～ 30 までの 31 段階です。
ダイヤルを回して適切な音量に調整してください。

初期設定ではガイドが鳴り音量調整の目安になります。初期状態では設定した音量で音声ガイドが数値を読み上げます。



■チャンネルを合わせる

待受画面で「CH」キーを押します。チャンネル番号が点滅中にダイヤルを回して設定したい番号に合わせます。音声で番号をガイドします。

「CH」キーか「PTT」キーを押すと表示が点灯に変わり確定します。

Hi 子機

L01



■受信する

信号を受信すると、受信した信号レベルに応じてディスプレイのアンテナが表示され、交信条件を満たしているとき音声聞こえるようになります。本機には受信終了時に聞こえる「ザッ」音を低減するテールノイズキャンセラーを採用しています。本機能を採用した弊社製の無線機との通話に対応しています。

重要 下記のような、インバーター内蔵の電気製品は受信障害の原因になることがあります。

- *LED 照明
- *IH 式調理器具
- *ソーラー発電装置
- *DC-AC インバーターなどの車載機器

■送信する

「PTT」キーを押すと、ランプが赤色点灯し送信状態になります。マイクと口元は 5cm ほど離してください。「PTT」キーを離すと、待受状態に戻ります。

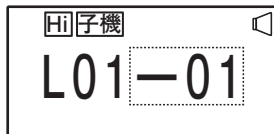
重要 マイクに向かって話すとき、声が大きすぎたり口元が近すぎたりすると、送信音が歪み（ひずみ）ますのでご注意ください。

■コールトーン

送信中に「戻る」キーや「CH」キーを押すと、音色の異なる呼出音が鳴り、相手の注意を引くことができます。マイクの場合でも送信中に「UP」キーや「DOWN」キーを押すと同様の動作ができます。

■グループトーク機能

他のグループの混信が聞こえず、一部のノイズを消す効果もあるので使用をお勧めします。01と50番は多用されているので別の番号を選ぶ方が効果的です。他社製や長年お使いの個体が混じるときは相性による通話不良を避けるため、02～36番からお選びください。全員の無線機に同じ番号を設定します。



1. 待受画面で「戻る」キーを押すとグループ番号を表示
2. 「CH」キーを2回押すと番号が点滅
3. 点滅中にダイヤルを回して番号を選択
4. 「CH」キー押す、または「PTT」キーを押すと表示が点灯に変わり確定

4

通信前のご注意

特定小電力無線機の通信に関する制限事項について説明します。

キャリアセンス

妨害を与え合わないよう、誰かが同じチャンネルで送信中は他の人は送信できなくなります。グループ機能で使用者の声が聞こえないときでも送信は禁止され、「PTT」キーを押すとプププ、とアラーム音が鳴ります。

注意 後述のセットモードで選べるサウンドを「ガイダンス /OFF」に設定しているとアラーム音が鳴りません。

送信時間制限装置

特小無線ではチャンネルを独占できないように1回の送信は連続3分以内、と決められていて、時間を超えると約2秒間、強制的に再送信できなくなります。

切れる10秒前に警告音が鳴り、3分になると送信は停止します。中継子機通話では連続した中継動作が3分です。てきぱきと短い通話を繰り返していると中継器が受信状態に戻らないためタイムアウトします。応答する前に時々2秒以上の間を取るとタイマーがリセットされます。

通信距離

- 河川敷のような障害物がない平地：1km 程度
 - 市街地の直線道路沿い：300～500m 程度（但し建物の陰に入ると短くなります）
 - 建屋内：構造や建材、設置された造作物の有無などで大きく変わります。
- ※測定時の条件：乗用車のルーフに無線部を設置、12V バッテリーから電源供給した本機と腰に装着した DJ-P300 間で通信

注意 トンネルのような閉鎖空間では、UHF 電波伝搬の特性により近距離でも通話できないことがあります。

運用中の CH とグループ番号の自動設定 (ACSH)

他の特定小電力無線機をすでに交互通話・中継通話でお使いであれば、本機の設定をそのチャンネルとグループ番号に自動で合わせることができます。業務通信でお使いになるときに便利な機能です。手順は P.40 の ACSH をお読みください。特定小電力無線機であれば、他社製品にも対応します。

レジャーやホビーユースでは CH や設定をしばしば変更されるため、その方法については、引き続き本書をお読みください。

5

通信方法

本機で利用できる通話方式の概要と操作方法を紹介します。

重要 基本の操作説明です、必ずお読みください。

P.47 のセットモードの項目に、本機が持つ機能のカスタマイズ方法が記載されています。次の項目以降、「セットモードで〇〇を設定します」という説明がひんばんに出てきますが、全てこの操作が基本になるので、ここで使い方を憶えてください。以降、「機能キーを押してセットモードに入ります」や「電源キーを押すと確定して待受画面に戻ります」のような長い説明は省略します。

- ①電源をオンにし、通話したいチャンネルに合わせます。
- ②機能キーを押します。「セットモード」が表示されます。
ダイヤルを回して「〇〇設定」のようなメニューを選びます。
- ③もう一度「機能」キーを押すとサブメニュー画面になります。
もう一度「機能」キーを押すとその項目の設定値や機能の選択ができる設定画面になります。
- ④ダイヤルを回すか、マイクの「UP」キーや「DOWN」キーを押して設定を切替えます。
- ⑤「戻る」キーを押すと新しい設定を保持して、ひとつ前の画面に戻ります。
「電源」キーや「PTT」キーを押すと、確定して待受画面に戻ります。

※次の操作例を読んで、この基本操作に慣れてください。

セットモードに項目がない場合は「拡張セットモード」がオフになっています。P.49 の説明に従い拡張セットモードをオンにしてください。

例：液晶表示色を変更する

- ①待受画面で「機能」キーを押して「セットモード」が表示されたらダイヤルを回します。
黒いカーソルが動くのでメニューを選びます。ここでは「表示設定」を選択します。
- ②「機能」キーを押し、同様にダイヤルを回してサブメニュー「カラー」を選択します。
- ③「機能」キーを押し、色を表示させます。初期値ではホワイトです。
その下に操作ガイドが表示されるので参考にして、ダイヤルを回して色を選びます。液晶カラーが選んだ色に変わります。

「戻る」キーでサブメニューやメニューに戻って別の項目を設定するか、「電源」キー・「PTT」キーを押して、待受に戻ります。

..... 通話方式の切替え

- ① セットモードで「通信設定」を選択します。

[セットモード]

通信設定

送信設定

受信設定 ▼

- ② 通信設定で「通話方式」を選択します。

[通信設定]

通話方式

コンパクター

秘話設定 ▼

- ③ ダイヤルを回し選択、確定します。

[通信設定]

一ダイヤル一		交互通話
変更		一戻る一
		完了

..... 通話方式一覧

工場出荷状態では交互通話に設定されています。

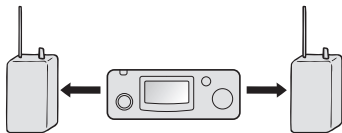
通話方式	チャンネル
交互通話	L01 ~ L09、b01 ~ b11 (20CH)
中継子機通話	L10 ~ L18、b 12 ~ b 29 (27CH)

■ 交互通話

一人が話す音声を残り全員が受信します。話し終わったら任意の人が応答します。

電波が届くところにいる人は人数に制限なく通話できます。無線機で一番基本の通話方式で、大勢でてきばきと連絡を取り合うのに最適です。

チャンネル：L01 ~ L09、b01 ~ b11



- ①「PTT」キーを押します。送信アイコンが表示され、ランプが赤く点灯したらマイクの正面に向かって話します。最適な受信音声になるよう音量や口とマイクの距離、向きを調節します。

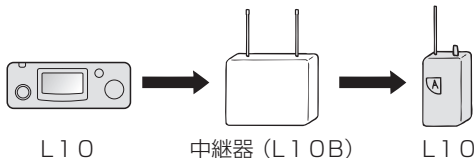


- ②話し終わったら「PTT」キーを離します。アイコンが消え、ランプが青く点灯します。

■ 中継子機通話

中継器にアクセスする中継子機通話モードです。中継器を介することで、直接では電波が届かない相手と通話することができます。チャンネルとグループ設定が同じであれば、他の無線機とも中継器を介して通話できます。本機同士、または中継対応子機と通話できます。

チャンネル：L10～L18、b12～b29



- ①あらかじめ中継器と本機のチャンネルを合わせます。送信元の「PTT」キーを押して送信状態にした後、マイクに向かって話します。



- ②送信元の音声を受信され、通話できているか確認します。



参考

特定小電力無線の中継器はだれでも自由に設置できます。個人が趣味の通信に供するものはアマチュア無線のように管理されていないため弊社にお問い合わせいただいてもお返事できません。また、業務で設置された中継器に割り込んで使用するのにはマナー違反でトラブルのもとになります。

■周波数帯

中継通話（半複信）では送信（アップリンク）と受信（ダウンリンク）周波数が異なります。弊社製トランシーバーは子機側が 440MHz 帯で送信、421MHz 帯で受信する「A」設定、中継器側が逆の「B」設定になっており、変更する必要はありません。他社製中継器を使用するときなど子機側を B 設定にする必要があるときは次の手順で設定します。

- ①中継子機 CH の待受画面で「CH」キーを 3 回押します。
- ② A が点滅したらダイヤルを回して B を選択し、「電源」キーか「PTT」キーを押して確定します。



参考

本機をリモコンとして中継器のチャンネルなどを遠隔操作できます。詳しくは P.42 の説明をお読みください。

6

便利な機能

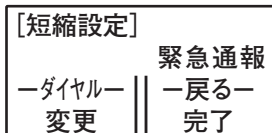
..... キーロック

使用時に誤ってキーが操作されることを防ぐ機能です。「戻る」キーを長押しするとキーロックが設定され、ディスプレイに「鍵アイコン」が点灯します。ダイヤル、「PTT」キー、「電源」キー、短縮動作「緊急通報」は操作できます。解除するときは再度「戻る」キーを長押しして「鍵アイコン」を消してください。



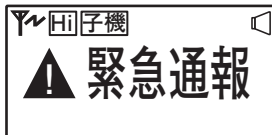
..... 短縮設定

「機能」キーを長押ししたときの動作に緊急通報かスキンのどちらかを割り当てられます。設定はセットモードのP.62を参照ください。



..... 緊急通報

簡易的な緊急通報として使用できます。セットモードの短縮設定で、「緊急通報」を選択します。「機能」キーを長押しするとアラーム音を10秒間送信します。受信した無線機からアラーム音が鳴ります。



参考

後述のセットモードで選べるサウンドを「ガイダンス」に設定していると、「異常が発生しました」とガイドが鳴ります。

..... スキャン

自動的にチャンネルを切替えて、通話しているチャンネルを探索する機能です。セットモードの短縮設定で「スキャン」を選択します。

[短縮設定]

		スキャン
一ダイヤル		一戻る
変更		完了

●開始

待受画面で「機能」キーを長押しするとスキャンを開始します。受信した信号でチャンネルが止まりますが、信号がなくなると約2秒後に自動的に再開します。スキャン実行中はセットモードに入れません。

●停止

スキャン実行中に「機能」を長押しすると停止します。「PTT」キーを短く押すと停止できます。

注意

VOX 機能使用時はスキャンできません。

..... デュアルオペレーション

メイン / サブの2つのチャンネルを交互に受信し、それぞれで通信できます。拡張セットモードのデュアルオペレーションの「動作設定」をオンにして、同じ項目の「メインCH」、「サブCH」をそれぞれ設定します。その他に再開時間等、個別に設定できる以下項目もありますので、後述のセットモードをお読みください。

- ・メイングループ、サブグループ
- ・メインコンパnder、サブコンパnder
- ・メイン秘話設定、サブ秘話設定
- ・再開時間

[動作設定]

		オン
一ダイヤル		一戻る
変更		完了

[メインCH]

		L01
一ダイヤル		一戻る
変更		完了

[サブCH]

		b01
一ダイヤル		一戻る
変更		完了

注意

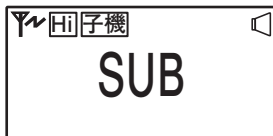
Bluetooth マイク使用時、本機能は動作しません。

送信

メイン CH で送信する場合は「PTT」キーを押します。待受画面に「MAIN」と表示されメイン CH で送信します。

サブ CH で送信する場合は「PTT」キーを二度押します。待受画面に「SUB」と表示されサブ CH で送信します。

通話が終わってから、再開時間が経過すると交互待受けを再開します。



受信

メイン CH を受信すると待受画面に「MAIN」と表示され、「ピッ」音が鳴ります。

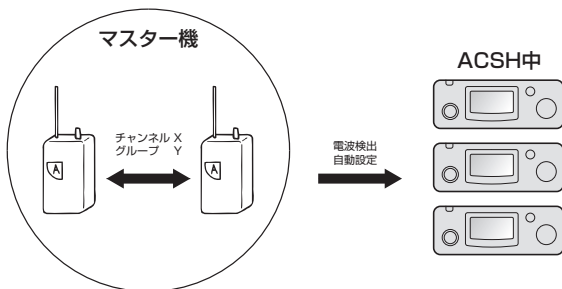
サブ CH を受信すると待受画面に「SUB」と表示され、「ピピッ」音が鳴ります。

..... ACSH (アクシュ)

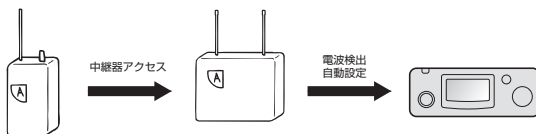
すでに使用している無線機（他社製も含む）のチャンネルとグループ番号をスキャンして、本機に同じ内容を自動設定する機能です。

- 重要**
- 自動設定中は電源をオフにしないでください。オフにすると自動設定せずに停止します。
 - 本機が電波を検出しているときは、マスター機のマイクから音声が入らないようにご注意ください。電波が乱されて正常に判定できないことがあります。
 - グループ番号の検出中にトーン周波数が近いものは動作が不安定になったり、誤判定することがあります。（例：01 番：67Hz、39 番：69.3Hz）その場合グループ番号を 01 番～ 36 番の範囲に設定してからご使用ください。
 - 本機を含む多機能機種には一部中継周波数帯の切替えができます。中継器の周波数を A(440MHz)に設定していると、自動設定できません。
 - 自動設定後はキーロックがオンします。手でチャンネルやグループ番号を変更したい場合は、キーロックをオフにします。

■ 交互通話のとき



■ 中継子機通話のとき



- ① マスター機と ACSH 設定を行う本機を用意します。
誤判定を防ぐために近距離で作業してください。

ACSHモード

- ② 本機の電源をオフにします。

- ③ 「電源」キーを長押しし続けます。一度電源がオンしますが「ACSH モード」と表示されるまで約7秒間押し続けます。

ACSH中

- ④ 表示後、「設定もととなる～」がガイドされたらマスター機を送信します。

- ⑤ 数秒から最長で2分程度待ちます。マスター機の電波を検知すると「ピピ」音とともにランプが青色点滅し「ACSH 中」と表示されます。

- ⑥ 設定が終わると「自動設定が完了しました」とガイドし、ランプが緑色点滅し、設定チャンネル・グループ番号が表示されます。キーロックがオンになり、自動的に電源がオフします。電源をオンにしマスター機と通話できるか確認します。

Hi 子機

L01-01

注意

デュアルオペレーション中、本機能は動作しません。

..... 中継リモコン

本機をリモコンとして中継器のチャンネルを遠隔設定できる機能です。

重要 中継器の設定に関する説明や注意点については、中継器の取扱説明書をお読みください。

■動作の流れ



- ①本機の通話方式を中継子機通話に設定します。あらかじめチャンネルとグループ番号を設定します。
誤判定を防ぐために近距離で作業してください。

リモコン中

- ②待受画面で「CH」キーを約2秒間長押しします。

リモコン完了

- ③送信中はランプが赤色点滅し、「リモコン中」と表示されます。停止させる場合は、②と同様の操作で待受画面に戻ります。

- ④設定が完了すると「ブルル」音とともにランプが緑色点滅し、「リモコン完了」と表示されます。その後自動的に待受画面に戻ります。
中継器にアクセスできるか確認します。



「中継器アラーム」などの設定値もリモコンで設定することができます。
参考 詳しくは P.59 の説明をお読みください。

..... ノイズキャンセラー

音声以外のノイズを除去して音声の明瞭度を上げる機能です。拡張セットモードの通信設定の「ノイズキャンセラー」でオフ / MIC / SP / ALL の4種類の中から設定します。騒音の大きな工場などで使用される時にお勧めする機能です。若干音質が変わるため、十分にテストしてからお使いください。

[ノイズキャンセラー]

		MIC
—ダイヤル—		—戻る—
変更		完了

- MIC：マイクから入るノイズを除去します。
- SP：スピーカーから鳴る音声のノイズを除去します。
- ALL：MIC / SP 両方が機能します。

注意

- 音声の周波数を通過させ、それ以外は除去するタイプのノイズキャンセラーです。
- 本機能をオンにすると、音声は若干変化します。音楽やチャイムは正しい音に聞こえません。
- 突発的な物音などはノイズキャンセルできません。
- 受信中に受信音の大きさが変化することがあります。一定のピープ音や強い信号を受信すると、強弱を一定レベルにして聞きやすく自動調整するためです。
- 音声周波数をフィルターする原理上、騒音が多い場所では送受信音声小さくなったり、少ない場所では歪んだり、ハウリングが発生したりすることがあります。そのようなときはオフにしてお使いください。

..... Bluetooth 機能

本機は最大 8 台までの弊社製 Bluetooth 対応アクセサリを登録できます。複数のアクセサリを登録するときは、正しく動作することを確認しながら 1 台ずつ個別に行ってください。複数台同時接続はできません。また、他社製の Bluetooth 対応イヤホン、イヤホンマイク類はペアリングできません。

■ Bluetooth 対応イヤホンマイク、スピーカーマイク

本機の Bluetooth 機能に対応するマイクを使って通話ができます。

- Bluetooth の通信範囲は約 10m（目安）です。マイクの電波が本機に届く範囲は通話できるので、無線機の前から離れて動き回ることができます。
- 登録台数が 8 台を超えるとペアリング情報が古いものから自動で削除されます。
- 下記の機能は Bluetooth に接続していると使えません。Bluetooth の設定をオフにしたうえで、有線式のマイクをお使いください。
 - デュアルオペレーション • コールバック
- Bluetooth 方式と有線のねじ込みジャックに接続するスピーカーマイクを併用すると、両方のスピーカーから音声ができます。どちらかの音声を消す設定や操作はありません。有線式スピーカーマイク接続時は常に有線式スピーカーマイクのスピーカー出力が ON となります。音声を聞きたくない場合は、有線式スピーカーマイクはお使いにならないでください。

注意 • Bluetooth マイクの音量は本機のダイヤルでも調整できます。適切な音量に合わせてください。

- 本機音量が極端に小さい、または極端に大きい場合、Bluetooth マイクの音量では適切に調整できなくなるため、ご注意ください。
- 受信中に受信音の大きさが変化することがあります。一定のピープ音や強い信号を受信すると、強弱を一定レベルにして聞きやすく自動調整するためです。

■ ペ어링

ペアリングとはマイクなどの Bluetooth 対応アクセサリ（以下、アクセサリ）と本機をお互いに登録し、接続する操作です。

重要 ・ 2 台以上のアクセサリを同時に接続することはできません。

- ・ 複数の Bluetooth 機器がある場所では、ペアリングしたいアクセサリを正しく検索できないことがあります。このような時は必要なアクセサリだけになるように、使用していない Bluetooth 機器の電源をオフにするか、それらの機器から離れてください。
 - ・ リセットすると登録されたペアリング情報は全て消え、復元できなくなります。あらためて登録したい機器とペアリングしてください。
 - ・ ペ어링情報が 8 台を超えると、古いペアリング情報は自動で消えます。ペアリング情報が消えたら、再度ペアリングしてください。
 - ・ 操作を始める前に、Bluetooth マイクのバッテリーを充電して電源が切れないよう、ご注意ください。
- イヤホンマイクであれば、イヤホンを耳に装着します。

1. 本機をペアリングモードにする

- ① 拡張セットモードの Bluetooth を「オン」にします。待受画面に「※」アイコンが表示され、ランプが赤色・緑色交互点滅します。
- ※ 2 台目以降のアクセサリとペアリングする場合、以下をお読みください。

● 2 台目以降のペアリングモード

- ① 拡張セットモードの Bluetooth を「オン」にします。待受画面に「※」アイコンが表示されます。
- ② 一度電源をオフし、「CH」キーと「電源」キーを同時に長押しし続けます。電源がオンしますが、ランプが赤色・緑色交互点滅するまで押し続けます。

2. アクセサリをペアリングモードにする

操作の前にアクセサリの取扱説明書もお読みください。

- ① インジケーターがオレンジ色に点灯後、緑で早く点滅するまで「電源」ボタンを長押しします。
 - ② 「ペアリング中です」と音声がかえ、インジケーターが緑で早く点滅したら、「電源」ボタンから手をはなします。
- ※ 弊社製のアクセサリを初めてご使用になるときは電源をオンするだけで、ペアリングモードになります。
- ※ ペ어링できる無線機が見つからない状態が 5 分つづくと、電源がオフします。

3. 本機とアクセサリーをペアリングする

上記の操作で本機とアクセサリーが共にペアリングモードになると自動で接続します。接続できたら本機の Bluetooth アイコンが  から  に変わります。



参考

ペアリング後の動作について、一度ペアリングしたアクセサリーとはそれ以降毎回ペアリングする必要はありません。

下記の条件を満たしている場合は自動で接続します。

- 本機の Bluetooth 機能が「オン」
- 本機が待ち受け状態
- アクセサリーが「オン」

注意

Bluetooth の通信は、周辺機器の影響で通信範囲が著しく変化したり、ペアリングが切断されることがあります。

- 電子レンジなど
- 無線 LAN
- 他の Bluetooth 機器

このような場合は、ほかのワイヤレス通信を停止させたり、電子レンジなどの使用を中止したり、周辺機器との距離をはなすなどしてください。

また、Bluetooth 機器と本製品の距離をできるだけ近づけると、通信状況が改善することがあります。

..... リセット

電源をオフにし、「機能」キーと「戻る」キーを押しながら電源をオンにします。「RESET」が表示されたら「機能」キーを押すと、すべての設定が初期化されます。「機能」キー以外のキーを押すとリセット操作をキャンセルして起動します。

RESET

実行 → 機能キー

中止 → その他のキー



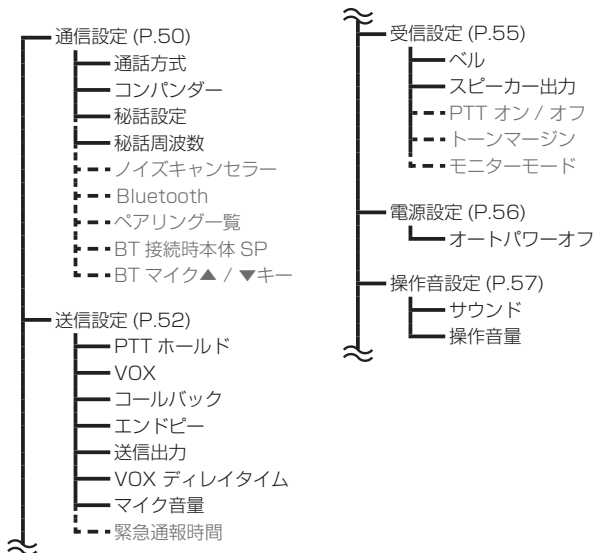
参考

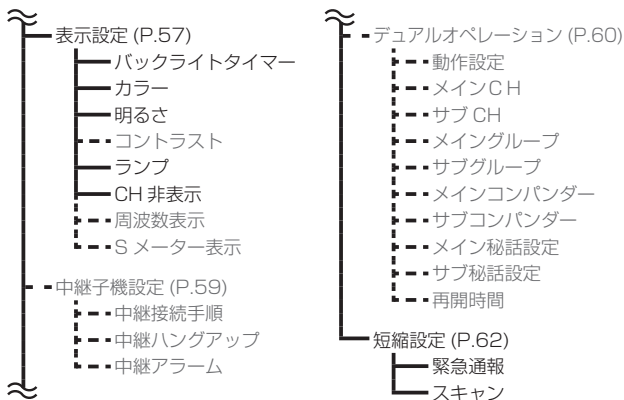
拡張セットモードを含めて初期化されます。

7

セットモード

..... セットモード一覧





注意 ・点線・グレー表示の部分は次のページの拡張セットモードに設定すると表示されます。

・Bluetooth がオンの場合、デュアルオペレーションやコールバックは動作しません。

..... セットモード基本操作

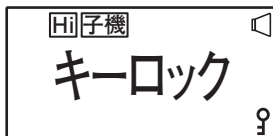
本機をもっと使いやすくするために、各種機能の動作をカスタマイズできます。

■ セットモードの設定方法 — P.33 でさらに詳しく記載しています。

- ①待受画面で「機能」キーを押してセットモードに入ります。
- ②ダイヤルを回して設定したい項目に合わせ、「機能」キーで選択します。
- ③設定した項目を開いたら、ダイヤルを回して設定値を変更します。
- ④「戻る」キーを押すと一段階戻ります。「電源」キーや「PTT」キーを押すと、確定して待受画面に戻ります。

■ 拡張セットモードの設定方法

- ①待受画面で「戻る」キーを長押しします。
- ②「キーロック」と表示中に「戻る」キーを5回連続で押すと、「ビビ」音とともに拡張セットモードがオンになります。
- ③セットモードに入ると、設定項目が増えていることを確認します。
- ④拡張セットモードをオフにする場合は、同様の操作を繰り返します。



参考

拡張セットモード時はセットモードに入ったときに[セットモード+]と表示されます。



注意

セットモード中は送信はできません。

..... セットモード

セットモードで設定できる機能の内容と、設定値の一覧です。

* マークが付いているのは拡張セットモードの項目です。

** マークが付いているのは Bluetooth に対応していない項目です。

■ 通信設定

● 通話方式

通話方式を設定します。
初期値は交互通話です。

交互通話 / 中継子機通話

[通話方式]

		交互通話
一ダイヤル		一戻る
変更		完了

● コンパンダー

通話中に聞こえるバックノイズを低減できます。初期値はオフです。

オフ / オン

[コンパンダー]

		オフ
一ダイヤル		一戻る
変更		完了

● 秘話設定

設定すると他の人には通話内容が聞かれにくくなります。セキュリティとしては低いものです。初期値はオフです。

オフ / オン

[秘話設定]

		オフ
一ダイヤル		一戻る
変更		完了

● 秘話周波数

通話したいグループ全員同じ周波数に設定します。初期値は 3.4kHz です。

2.7 ~ 3.4kHz (0.1kHz ステップ)

[秘話周波数]

		3.4kHz
一ダイヤル		一戻る
変更		完了

●ノイズキャンセラー *

音声以外のノイズを除去して明瞭度を上げる機能です。初期値はオフです。

オフ / MIC / SP / ALL

[ノイズキャンセラー]

オフ

—ダイヤル— || —戻る—
変更 完了

●Bluetooth *

弊社製 Bluetooth 対応アクセサリと接続できます。初期値はオフです。

オフ / オン

[Bluetooth]

オフ

—ダイヤル— || —戻る—
変更 完了

●ペアリング一覧 *

Bluetooth をオンにすると、過去にペアリングしたアクセサリ名が表示されます。

[ペアリング一覧]

ALINCO-eme80bm
ALINCO-ems87b

ペアリング一覧から接続または削除したいアクセサリ名をダイヤルキーで選択し「機能」キーを押します。接続するときは「機能」キーを押し、接続をキャンセルするときは再度「機能」キーを押します。削除するときは「機能」キーを長押しします。

ALINCO-eme80bma

機能キーで接続
機能長押で削除

●BT 接続時本体 SP *

Bluetooth 使用時に本機スピーカーから受信音を鳴らす機能です。初期値はオフです。オンにすると両方から鳴ります。Bluetooth 側の受信音声切ることはできません。

ボリュームを下げてください。

[BT 接続本体SP]

オフ

—ダイヤル— || —戻る—
変更 完了

オフ / オン

●BT マイク▲/▼キー*

弊社製 Bluetooth 対応アクセサリの「▲ / ▼」キーの割り当てを設定できます。初期値は音量変更です。

音量変更 / チャンネル変更

[BTマイク▲/▼キー]

音量変更

—ダイヤル— || —戻る—
変更 完了

■送信設定

●PTT ホールド

「PTT」キーを一度押すと送信を継続する機能です。再度押すと待受状態に戻ります。初期値はオフです。

オフ / オン

[PTTホールド]

オフ

—ダイヤル— || —戻る—
変更 完了

注意

スピーカーマイクは、本機能が動作しません。

●VOX

「PTT」キーを押さずにマイクに向かって話すと、自動的に送信する機能です。大きい声で話す場合は Low に、小さい声で話す場合は High に設定してください。初期値はオフです。

オフ / Low / High

[VOX]

オフ

—ダイヤル— || —戻る—
変更 完了

注意

- ・スピーカーマイク接続時や PTT オフ設定時は、本機能が動作しません。詳しくは P.67 のオプション一覧をお読みください。
- ・周囲の環境音で送信してしまう場合は VOX はお使いになれません。

●コールバック **

送信中にイヤホンから自分の送信音声が聞こえてくる機能です。正しく送信できているか確認しながら通話できます。初期値はオフです。

オフ / オン

[コールバック]

オフ
一ダイヤル一 戻る一
変更 || 完了

注意

スピーカーマイクは、ハウリングが起こるため使用できません。

●エンドピー

「PTT」キーを離して送信を停止させたときに「ピッ」音が鳴り送信が終わったことを相手にお知らせする機能です。送信側で設定してください。

エンドピーにすると、受信終了時に信号レベルに合わせてピーブ音が鳴ります。ピーブ音は3段階あり強（ピッ）中（ピピッ）弱（ピピッ）と鳴ります。

受信側で設定してください。

初期値はオフです。

オフ / オン / エンドピー

[エンドピー]

オフ
一ダイヤル一 戻る一
変更 || 完了

注意

- ・ エンドピーはテールノイズキャンセラーを搭載した弊社品または、グループトークを設定した無線機から送信された電波が動作条件となります。
- ・ トーンマージンをオンにすると、エンドピーは正しく動作しません。

●送信出力

送信出力を設定できます。初期値はHighです。

High (10mW) / Low (1mW)

[送信出力]

High
一ダイヤル一 戻る一
消去 || キャンセル

●VOX ディレイタイム

VOX で送信中に息継ぎなどで声が途切れても送信状態を保持する時間を設定できます。初期値は1秒です。

1 ～ 5 秒

[VOXディレイタイム]

1秒

—ダイヤル— || —戻る—
変更 || 完了

●マイク音量 (マイクゲイン)

相手に聞こえる声が小さいときや話し声が歪むときに調整します。初期値は4です。歪むときは小さく、声が小さいときは大きくします。

1 ～ 7

[マイク音量]

4

—ダイヤル— || —戻る—
変更 || 完了

●緊急通報時間 *

緊急通報の送信時間を設定できます。初期値は10秒です。

10 ～ 60 秒 (10 秒ステップ)

[緊急通報時間]

10秒

—ダイヤル— || —戻る—
変更 || 完了

■ 受信設定

● ベル（着信通知）

着信をベル音とアイコンでお知らせします。通話中は鳴りません。しばらく待ち受けが続くと動作を再開します。初期値はオフです。

オフ / オン

[ベル]

ダイヤル変更 || 戻る完了

● スピーカー出力

どのスピーカーを鳴らすか設定します。初期値は本体です。

本体 / スピーカーマイク / ALL

[スピーカー出力]

ダイヤル変更 || 戻る完了

● PTT オン / オフ *

送信を禁止して受信専用にする機能です。オフにすると VOX 送信もできなくなります。本機能をオフにして PTT 操作すると「PTT OFF」と表示されます。初期値はオンです。

オフ / オン

[PTT オン / オフ]

ダイヤル変更 || 戻る完了

● トーンマージン *

グループトーク機能の信号の読み取り精度を調整できます。弊社製の旧型機や他社製品とグループトークでの通話が不安定な場合、お試しください。通常はオフのまま使用してください。初期値はオフです。

オフ / オン

[トーンマージン]

ダイヤル変更 || 戻る完了

- 注意** ・本機能をオンにする前に、グループ番号 02 ～ 36 番をお試しください。
- ・本機能をオンにすると、他のグループ番号の音が聞こえたり、受信終了時に「ザッ」音が聞こえることがあります。

●モニターモード*

待受画面で「戻る」キーと「CH」キーを同時に押すとスケルチを開放して「ザー」音が聞こえます。初期値はオンです。

オン / オフ

[モニターモード]

		オン
ーダイヤルー		ー戻るー
変更		完了

- 注意** ・デュアルオペレーションの場合、本機能は動作しません。
- ・本機能動作中は、各種機能による送信はできません。
 - ・本機にスケルチレベル設定はありません。弱い信号を受信するときにはモニター機能でスケルチを解放してください。

■電源設定

●オートパワーオフ

電源の切り忘れを防ぐ機能です。無操作の状態が設定時間続くと、自動的に電源が切れます。通常はオフのまま使用してください。

オフ / 30 分 / 1 時間 /
1 時間 30 分

[オートパワーオフ]

		オフ
ーダイヤルー		ー戻るー
変更		完了

■ 操作音設定

● サウンド

本機の操作音や警告音の種類が選べます。
初期値 ALL では全ての操作音と音声ガイドが鳴り、オフは一切鳴りません。

[サウンド]

ALL
—ダイヤル— || —戻る—
変更 完了

オフ / ビープ / ガイダンス / ALL

 **注意** 本機能をオフにすると、緊急通報も鳴らなくなりますので、ご注意ください。

● 操作音量

本機の通話の音量と操作音量は連動しません。操作音とガイドの音量は 5 段階で設定できます。
初期値は 3 です。

[操作音量]

3
—ダイヤル— || —戻る—
変更 完了

1 ~ 5

■ 表示設定

● バックライトタイマー

液晶部の照明は自動で消えます。
オフは常時消灯、オンは常時点灯、秒はキーやダイヤル操作のあと照明が自動で消えるまでの時間です。
初期値はオンです。

[バックライトタイマー]

オン
—ダイヤル— || —戻る—
変更 完了

オフ / 5 秒 / 10 秒 / 30 秒 / 60 秒 / オン

●カラー

ディスプレイのバックライトの色を設定します。初期値はホワイトです。

ホワイト / レッド / ブルー / グリーン
パープル / イエロー / ライトブルー

[カラー]

ホワイト
—ダイヤル— || —戻る—
変更 || 完了

●明るさ

ディスプレイの明るさを設定します。初期値は 5 です。

オフ / 1 ~ 5

[明るさ]

5
—ダイヤル— || —戻る—
変更 || 完了

●コントラスト *

ディスプレイの濃さを設定します。初期値は 3 です。

1 ~ 5

[コントラスト]

3
—ダイヤル— || —戻る—
変更 || 完了

●ランプ

LED ランプの明るさを設定します。初期値は High です。Low は暗くなります。オフは常時消灯です。故障と間違えるので通常は使いません。

オフ / Low / High

[ランプ]

High
—ダイヤル— || —戻る—
変更 || 完了

●CH 非表示

CH 番号などの表示を隠す設定です。初期値はオフで常時表示、秒はキーやダイヤル操作のあと表示が「—」に変わるまでの時間です。操作をすれば表示は戻ります。初期値はオフです。

オフ / 5 秒 / 10 秒 / 30 秒 / 60 秒

[CH 非表示]

オフ
—ダイヤル— || —戻る—
変更 || 完了

●周波数表示 *

CH 表示の代わりに周波数を表示する機能です。初期値はオンです。

オン / オフ

[周波数表示]

オン
—ダイヤル— || —戻る—
変更 || 完了

●S メーター表示 *

待受画面左下に受信信号の強度を示すSメーターを表示します。標準のアンテナアイコンは消えません。

初期値はオンです。

オン / オフ

[Sメーター表示]

オン
—ダイヤル— || —戻る—
変更 || 完了

■中継子機設定 *

●中継接続手順 *

中継アクセス時の自動接続手順を解除する機能です。通常はオンで使用してください。初期値はオンです。

オフ / オン

[中継接続手順]

オン
—ダイヤル— || —戻る—
変更 || 完了

●中継ハングアップ *

無線機からの送信が終わっても中継動作を保持する時間を設定できます。

初期値はオフです。

オフ / 0.5 秒 / 1 秒 / 2 秒

[中継ハングアップ]

オフ
—ダイヤル— || —戻る—
変更 || 完了

●中継アラーム *

中継動作終了時に中継器からアラーム音を送信する機能です。

初期値はオフです。

オフ / オン

[中継アラーム]

オフ
—ダイヤル— || —戻る—
変更 || 完了



参考

これらの項目は「中継リモコン」機能で遠隔設定もできます。(P.42)

■デュアルオペレーション**

●動作設定**

デュアルオペレーションするとき
オンにします。初期値はオフです。

オフ / オン

本項目のメイン**、サブ**は、
それぞれに設定する機能を表しま
す。グループトーク番号、コンパ
ンダー、秘話の各種設定は通常の
運用モードとは別に設定できます。

[動作設定]

		オフ
一ダイヤル		一戻る
変更		完了

●メイン CH**

メイン CH を設定します。
初期値は L01 です。

L01 ~ L09, b01 ~ b11
L10A ~ L18A, b12A ~ b29A**
L10B ~ L18B, b12B ~ b29B**

[メインCH]

		L01
一ダイヤル		一戻る
変更		完了

●サブ CH**

サブ CH を設定します。
初期値は L01 です。

L01 ~ L09, b01 ~ b11
L10A ~ L18A, b12A ~ b29A**
L10B ~ L18B, b12B ~ b29B**

[サブCH]

		L01
一ダイヤル		一戻る
変更		完了

●メイングループ**

メインCHのグループトーク番号
を設定します。初期値は 01 です。

01 ~ 50

[メイングループ]

		01
一ダイヤル		一戻る
変更		完了

●サブグループ **

サブCHのグループトーク番号を設定します。初期値は01です。

01 ~ 50

[サブグループ]

01

—ダイヤル— || —戻る—
変更 || 完了

●メインコンパクター **

メインコンパクターを設定します。初期値はオフです。

オフ / オン

[メインコンパクター]

オフ

—ダイヤル— || —戻る—
変更 || 完了

●サブコンパクター **

サブコンパクターを設定します。初期値はオフです。

オフ / オン

[サブコンパクター]

オフ

—ダイヤル— || —戻る—
変更 || 完了

●メイン秘話設定 **

メイン秘話を設定します。初期値はオフです。

オフ / オン

[メイン秘話設定]

オフ

—ダイヤル— || —戻る—
変更 || 完了

●サブ秘話設定 **

サブ秘話を設定します。初期値はオフです。

オフ / オン

[サブ秘話設定]

オフ

—ダイヤル— || —戻る—
変更 || 完了

●再開時間設定 **

デュアルオペレーションで受信終了後に動作再開するまでの時間を設定します。初期値は5秒です。

1 ~ 5 秒

[再開時間設定]

5秒

—ダイヤル— || —戻る—
変更 || 完了

■短縮設定

P.37 で説明した、機能キー長押し時の動作です。
初期値はスキャンです。

●緊急通報

短縮設定に緊急通報を割り当てます。

[短縮設定]

—ダイヤル—	緊急通報
変更	—戻る—
	完了

●スキャン

使用中や空いているチャンネルを探すときにチャンネルを自動で切り替える機能です。

[短縮設定]

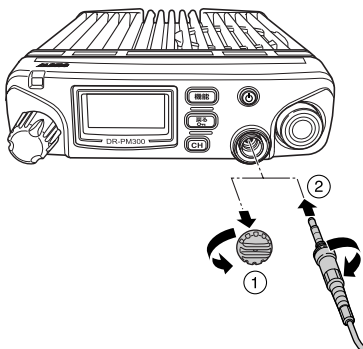
—ダイヤル—	スキャン
変更	—戻る—
	完了

8

保守・参考

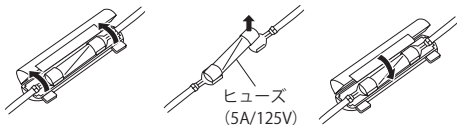
■別売スタンドマイクの接続 (EMS-924)

別売のスタンドマイクは下図のようにしっかり止まるまでねじ込みます。
外したキャップはなくさないように保存してください。



■ヒューズの交換

本体の電源ケーブルはヒューズ (5A/125V) が 1 本使われています。
ヒューズが切れて電源が入らなくなったときは、電源ケーブルの接続を外して不具合の原因を取除いたあと下図のように取替えてください。



注意 本体側の電源ケーブルのヒューズは 5A、バッテリー側の電源ケーブルのヒューズは 15A です。

..... 故障とお考えになる前に

「故障かな？」と思われたら、まず以下の「処置」をお読みください。
マイクやケーブルが原因の不具合もありますので、必ずアクセサリも点検してください。設定の間違いなどはリセットをすると回復する場合がありますが、意図した設定まで初期化されるので注意が必要です。

症状	原因	処置
電源を入れても、ディスプレイに何も表示されない。	電源ケーブルが接触不良を起こしている。	ケーブルやヒューズに異常が無いか点検してください。
	電源の(+)端子と(-)端子の接続が逆になっている。	電源ケーブル(付属品)の赤色側を(+)端子、黒色側を(-)端子に接続してください。
	ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を除いたあと、指定容量のヒューズと交換してください。
ディスプレイの表示が暗い。	明るさ設定が低くなっている。	セットモードで明るさ設定を高く設定してください。
ディスプレイの表示が異常になっている。	CPU が誤作動している。	リセットしてください。 電源ケーブルを一旦抜いて再度接続してください。
スピーカーから音が出ない。 受信できない。	音量が低すぎる。	適切な音量にレベルを変えてください。(P.28)
	送信状態になっている。	「PTT」キーを操作して受信にしてください。
	各種動作設定のスピーカー出力設定が不適切。(P.55)	設定を見直してください。
	秘話の誤設定。	送受ともに秘話設定するか、設定をオフにします。
送信ができない。 送信しても応答がない。	「PTT」キーが確実に押されていない。	「PTT」キーを押してランプを赤色点灯させてください。
	チャンネル(周波数)や通話方式が間違っている。	相手と通信可能なチャンネル・設定に正しく合わせてください。
	キャリアセンスが働いている。	他の電波がなくなるのを待ってから送信してください。
キーによる操作ができない。	キーロックが設定されている。	キーロックの設定を解除してください。

症状	原因	処置
Bluetooth アクセサリーが動作しない。	ペアリングされていない。	ペアリング方法に従ってペアリングしてください。
	他のBluetoothアクセサリーと接続されている。	使用しない Bluetooth アクセサリーの電源はオフにしてください。

- 無線部と操作部の間の通信に異常が出ると「通信エラーです」と表示が出ます。連結ケーブルの断線、コネクタ接続などの異常がないか点検してください。ケーブルや接続に問題が無ければ本体の異常が考えられます。次項をお読みの上、販売店か弊社サービスセンターにご相談ください。フリーダイヤルは裏表紙に記載しています。

アフターサービスについて

■保証書

保証書は購入店名、購入日の記入（または専用ステッカー貼付けなど）と、記載の製造番号をお確かめの上、本書と一緒に大切に保管してください。記載がないときは販売店発行のレシート、納品書など購入店と購入日が証明できる書類と一緒に保存してください。購入店と購入日が証明できない場合は製品保証が無効となりますのでご注意ください。

■保証期間

同梱の保証書に記載されている期間です。

正常な使用状態で上記の期間中に万一の故障が生じた場合は、お手数ですが製品に有効な保証書を添えて、お買い上げいただいた販売店または弊社サービス窓口へご相談ください。保証書の規定にしたがって無償修理いたします。

■保証期間が過ぎたら

お買い上げいただいた販売店または弊社サービス窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有償で修理いたします。

アフターサービスや製品に関するよくあるご質問は「アルインコ 電子FAQ」をキーワードにネット検索してください。

ご不明な点がございましたら、お買い上げいただいた販売店または弊社サービス窓口へご相談ください。

■製造終了製品に対する保守年限に関して

弊社では製造終了後も下記の期間、製品をお使い頂けるように最低限必要な補修用部品を常備しています。ただし不測・不可抗力の事態により在庫部品に異常が発生したような場合はアフターサービスをご提供できなくなることもありますので、あらかじめご了承ください。

補修部品の保有期間は、生産終了後 5 年です。

■注意事項

- ・改造、分解されたり銘板やラベル類が剥がされた製品は、修理をお断りすることがあります。
- ・修理見積や保険用の証明書類の発行は、一部有償です。
- ・本製品には明確に定められた製品寿命はありません。
- ・弊社の製品保証には、取付けや取外しに掛かる費用は含まれていません。
- ・樹脂成型時に細かいラインが入ることがありますが、異常ではありません。
- ・印字について美観上の問題が無い範囲でわずかなムラがあります。

9

オプション一覧

対応しないマイクを接続すると、接続したマイクの故障につながります。
次ページの「注意」をよくお読みください。



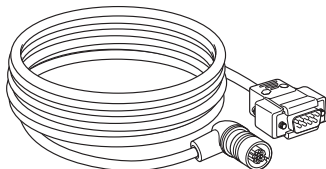
- 8ピンマイク
EMS-61(スペア)



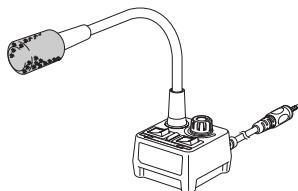
- イヤホンマイク
EME-80BMA Bluetooth 対応
耳掛けイヤホン付属



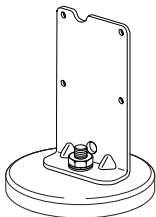
- IP67 相当防水スピーカーマイク
EMS-87B Bluetooth 対応



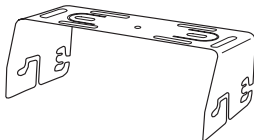
- 連結ケーブル 5m
EDS-40S05 (スペア)
- 連結ケーブル 10m
EDS-40S10
- 連結ケーブル 20m
EDS-40S20



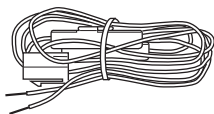
- スタンドマイク (ねじ込み式)
EMS-924



- 無線部ブラケット
EBC-66 (スペア)



- モービルブラケット
FM0078A (スペア)
止めねじ AE0012 は付属なし



- 電源ケーブル
UA0038AY (スペア)

- セパレートキット
EDS-9
- セパレート・カブラー
EDS-34
- シガーケーブル
EDC-341 (スペア)

マイクキャップ、取付ネジ等の付属品も補修用部品としてお求めになれます。ご購入店へご注文ください。

注意 • EMS-62 や EMS-71、EME-63A/64A 等のねじ込みプラグを採用する携帯型無線機用のマイク類はお使いになれません。音声出力が異なるため、音量を上げるとスピーカーが故障します。

• EMS-87BNC (Bluetooth・ノイズキャンセル対応) もペアリングすればお使いになれますが、内蔵のノイズキャンセル機能は本機では動作しません。本機用には必ず EMS-87B と指定してお買い求めください。

10

定格

送受信周波数	L チャンネル	421.8125 ~ 421.9125MHz (B)
		422.2000 ~ 422.3000MHz
		440.2625 ~ 440.3625MHz (A)
	b チャンネル	421.5750 ~ 421.7875MHz (B)
		422.0500 ~ 422.1750MHz
		440.0250 ~ 440.2375MHz (A)
制御チャンネル	421.8000MHz、422.1875MHz、440.2500MHz	
電波型式	F3E F1D	
送信出力	10mW 1mW	
受信感度	- 14dBu (12dB SINAD)	
音声出力	2W 以上 (本体 / 外部)、800mW 以上 (スピーカーマイク)	
通話方式	単信、半複信	
定格電圧	13.8V ± 10% または、26.4V ± 10%	
消費電流	350mA 以下 (送信時) 600mA 以下 (受信時) 300mA 以下 (待ち受け時)	
動作温度範囲	- 10℃ ~ + 50℃	
外形寸法 W × H × D	無線部	59.8 × 441.0 × 34.0mm
	操作部	140.0 × 40.0 × 178.0mm
質量 (約)	約 2400g (無線部ブラケット、連結ケーブル 5m、マイク含む)	

外郭保護性能

* マグネット基台と EDS-40 接続ケーブルを正しく接続した無線部：
IP66/67

IP6X：ベビーパウダー状の粉を 1 立方メートル当たり 2kg の濃度で浮遊させた試験器内に 8 時間放置して、製品内部に一切粉塵が入っていないことを確認

IPX6：既定の条件の激しい水流をホースで全方向から掛けても悪影響を受けない耐水性を確認 (IPX5 は 6 より条件の緩やかな噴流を掛ける)

IPX7：室温の静水の真水の水深 1m に製品をゆっくり水没させて静止状態で 30 分放置しても中に水が入らない耐浸性を確認

EDS-40 ケーブルを接続しないと防水にはなりません。

* 操作部：耐塵・防水ではありません。

■ 設定初期値一覧表

通信設定	
通話方式	交互通話
コンパンダー	オフ
秘話設定	オフ
秘話周波数	3.4kHz
ノイズキャンセラー *	オフ
Bluetooth*	オフ
ペアリング一覧 *	-
BT 接続時本体 SP*	オフ
BT マイク▲/▼キー*	音量変更

送信設定	
PTT ホールド	オフ
VOX	オフ
コールバック**	オフ
エンドピー	オフ
送信出力	High
VOX デレイタイム	1 秒
マイク音量	4
緊急通報時間	10 秒

受信設定	
ベル	オフ
スピーカー出力	本体
PTT オン / オフ	オン
トーンマージン	オフ
モニターモード	オン

電源設定	
オートパワーオフ	オフ

操作音設定	
サウンド	ALL
操作音量	3

表示設定	
バックライトタイマー	オン
カラー	ホワイト
明るさ	5
コントラスト *	3
ランプ	High
CH 非表示	オフ
周波数表示 *	オン
S メーター表示 *	オン

中継子機設定 *	
中継接続手順 *	オン
中継ハングアップ *	オフ
中継アラーム *	オフ

デュアルオペレーション **	
動作設定 *	オフ
メイン CH**	L01
サブ CH**	L01
メイングループ*	01
サブグループ*	01
メインコンパクター*	オフ
サブコンパクター*	オフ
メイン秘話設定*	オフ
サブ秘話設定*	オフ
再開時間*	5 秒

短縮設定	
緊急通報	-
スキャン	-



- ・ * マークが付いているのは拡張セットモードの項目です。
- 参考 ・ ** マークが付いているのは Bluetooth に対応していない項目です。

- 仕様・定格は予告なく変更する場合があります。
- 本書の説明用イラストは、実物とは状態や形状が異なる、一部の表示を省略している、等の場合があります。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは禁止されています。

アラインコ株式会社 電子事業部

〒541-0043 大阪府大阪市中央区高麗橋4丁目4番9号 淀屋橋ダイビル13階 TEL.06-7636-2361

無線・電源 機器のアフターサービスに関するお問い合わせは

お買い上げの販売店またはフリーダイヤル ☎ 0120-464-007

全国どこからでも無料でお客様のご相談窓口につながります。

受付時間：月曜～金曜 AM10-12 / PM 1-5 (土日祝日と休業日を除く)

お問い合わせフォーム：「アラインコ 電子 お問い合わせ」で検索してください

Copyright Alinco, Inc.

PW0039

FNFI-NK